

(参考) 簡易貨物情報登録関係

簡易貨物情報登録

システム不参加保税地域又は船卸場所等システム参加保税地域以外の場所に置かれている、システムに貨物情報が登録されていない海上貨物について、システムを使用して輸入申告（本船扱い又はふ中扱いの承認申請を含む。）又は保税運送申告を行うために、貨物情報をシステムに登録する業務である。ただし、「他所蔵置許可申請」業務（業務コード：TYC）を利用して貨物情報を登録する場合は、本業務による登録を行う必要はない。

なお、本業務は、止むを得ない場合に使用するものであることから留意すること。

簡易貨物情報の登録方法

簡易貨物情報をシステムに登録する場合は、「簡易貨物情報登録」業務（業務コード：SCR）を利用して次の事項を入力し送信する。

[1] B/L番号（「B/L番号*」欄）

先頭4桁に船会社コード（「業務コード集」参照）を入力し、その後にオリジナルのB/L番号を必須入力する。

B/L番号が不明等の場合は、先頭4桁に「OTH0」を入力し、その後に保税運送承認番号を入力する。

「,」（カンマ）の入力が必要になった場合は、「.」（ピリオド）に変えて入力する。

[2] 蔵置場所コード（保税地域）（「搬入場所（保税地域）」欄）

蔵置場所が保税地域の場合は、保税地域コード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

蔵置場所が船卸場所の場合は、入力不可。

[3] 蔵置場所コード（船卸場所）（「搬入場所（船卸場所）」欄）

蔵置場所が船卸場所の場合は、バースコード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

蔵置場所が保税地域の場合は、入力不可。

[4] 搬入年月日（「搬入年月日*」欄左）

蔵置場所への搬入年月日を西暦（8桁）で必須入力する。

「搬入場所コード（保税地域）」欄に本船扱い又はふ中扱いの保税地域コードを入力した場合は、積載船舶の入港年月日を西暦（8桁）で必須入力する。

[5] 搬入時刻（「搬入年月日*」欄右）

搬入時刻を24時間制（4桁）で入力する。

「搬入場所（保税地域）」欄に入力した保税地域コードが本船扱い又はふ中扱いの保税地域コードの場合は、積載船舶の入港予定時刻を24時間制（4桁）で入力する。

[6] 船舶コード（「船舶*」欄左）

積載船舶の信号符字（コールサイン）を必須入力する。

信号符字がシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[7] 積載船名（「船舶*」欄右）

信号符字がシステムに登録されていない場合は、積載船名を必須入力する。

[8] 船卸港コード（「船卸港」欄）

船卸港を国連LOCODE（「業務コード集」参照）で入力する。

搬入場所が船卸場所の場合は必須入力する。

[9] 入港年月日（「入港年月日*」欄）

積載船舶の入港年月日（不明の場合は搬入年月日）を西暦（8桁）で必須入力する。

「搬入場所（保税地域）」欄に入力した保税地域コードが本船扱い又はふ中扱いの保税地域コードの場合は、積載船舶の入港予定年月日を西暦（8桁）で必須入力する。

[10] 積出地コード（「積出地」欄）

積出地を国連LOCODE（「業務コード集」参照）で入力する。

[11] 品名（「品名」欄）

貨物の品名を入力する。

[12] 記号番号（「記号番号」欄）

貨物の記号及び番号を入力する。

[13] 個数（「個数*」欄左）

個数を必須入力する。

なお、個数により入力することができない場合は、「1」を入力する。

[14] 個数単位コード（「個数*」欄右）

個数の単位を包装種類コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

[15] 総重量（「総重量*」欄左）

総重量を必須入力する。

なお、小数点以下第3位まで入力することができる。

[16] 重量単位コード（「総重量*」欄右）

重量の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で必須入力する。

簡易貨物情報の訂正方法

前記（簡易貨物情報の登録方法）によりシステムに登録した簡易貨物情報の内容を訂正する場合は、次による。

イ 呼出しによらない方法

「簡易貨物情報登録」業務（業務コード：SCR）を利用して、前記「簡易貨物情報の登録方法」の入力事項を入力し送信する。

ロ 呼出しによる方法

「簡易貨物情報登録呼出し」業務（業務コード：SCR11）を利用して、「B/L番号*」欄に訂正する簡易貨物情報に係るB/L番号を入力し送信することにより、簡易貨物情報の内容が「簡易貨物情報登録呼出情報」（出力情報コード：SAS1040）として応答画面に出力されることから、出力された内容を確認の上、前記「簡易貨物情報の登録方法」に準じて訂正を必要とする事項を上書き入力し送信する。